

令和6年度協議会の概要を報告します

目黒本町六丁目・原町地区密集市街地総合防災協議会の前会長が、令和6年4月にご逝去されました。町会や商店会活動をはじめ、補助46号線整備や木密事業の公園整備など、まちづくりに多大な尽力をいただきました。

今後もその志を受け継ぎ、災害に強いまちづくりに向けて協議会活動をさらに充実していきたいと思ひます。引き続き、地域の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

第1回協議会

開催日時 令和6年6月18日(火) 18:30～20:10
会 場 向原住区センター2階 第1・2会議室(以下同じ)
議事項目 ・令和5年度及び令和6年度の取組等について
・地区内の事業や関連協議会等について

第2回協議会

開催日時 令和6年10月31日(火) 18:30～20:15
議事項目 ・第1回事業評価委員会の報告
・令和6年度防災講演会について
・公園整備の状況
・立会川緑道整備について

第3回協議会

開催日時 令和7年1月28日(火) 18:30～20:00
議事項目 ・第2回事業評価委員会の報告
・令和6年度防災講演会の報告(見開き面参照)

【協議会での主なご意見】

- ・事業評価には地域の実情に詳しい方が入っていただきたい。
- ・向原小学校が避難所となっており、立会川緑道の検討と併せて、別の避難ルートも検討する必要がある。
- ・発災型避難訓練は町会でもやっているが、避難所については実際に住民はどう動けばよいか、誰が避難所を開けてくれるのか、基本的な共通認識がないと意味がない。



協議会の様子



ご案内 地区内の公園整備が進んでいます

この春に「向原東みんなの街かど公園」と「洗足北共栄ひろば」が開園します！！
現在検討会で話し合いをしている2箇所の公園は、令和7年度に工事・開園予定です。
各検討会のニュースレターで整備計画案や3Dイメージを掲載中。QRからアクセスできます。



ご案内 目黒区では感震ブレーカー設置助成を行っています

地震による電気火災には感震ブレーカーが有効です！
助成申込は一旦2月末で終了します。新年度の4月以降の取組等、
詳細は右QRから区のホームページにアクセスしてご確認ください。
担当：目黒区防災課(5723-8700)



お問い合わせについては、事務局までお願いします。

事務局：目黒区 街づくり推進部 木密地域整備課(担当：鈴木、長谷川、飯場)
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15(目黒区総合庁舎 本館6階)
TEL: 5722-9672(直通) FAX: 5722-9239 Mail: tosei02@city.meguro.tokyo.jp

目黒本町六丁目・原町地区 街づくりニュース No.61

目黒本町六丁目・原町地区 密集市街地総合防災協議会 発行

木密事業に関するアンケートへご協力をお願いします

目黒区では、木密事業に関するアンケート調査を実施しています。
アンケートは右のQRをスマートフォン等で読み取るとアクセスできます。
順番にクリックしていくと数分で完了します。
地域の皆さまからご意見をいただき今後のまちづくり活かしていきます。



木密事業の事業評価委員会が開催されました

目黒本町六丁目・原町地区の木密事業は、平成13年度より24年間継続してきました。現在の計画では、令和7年度事業終了の予定ですが、引き続き事業継続を目標として、令和6年度に事業評価委員会を2回開催しました。

学識経験者3名の事業評価委員を中心に、木密事業の進捗や状況の変化や、今後の予定事業の効果等を検証し、事業継続の必要性を審議しました。評価内容は、目黒区から東京都を通じて、国へ提出します。

第1回事業評価委員会 令和6年8月28日(水) 開催

第2回事業評価委員会 令和7年1月24日(金) 開催

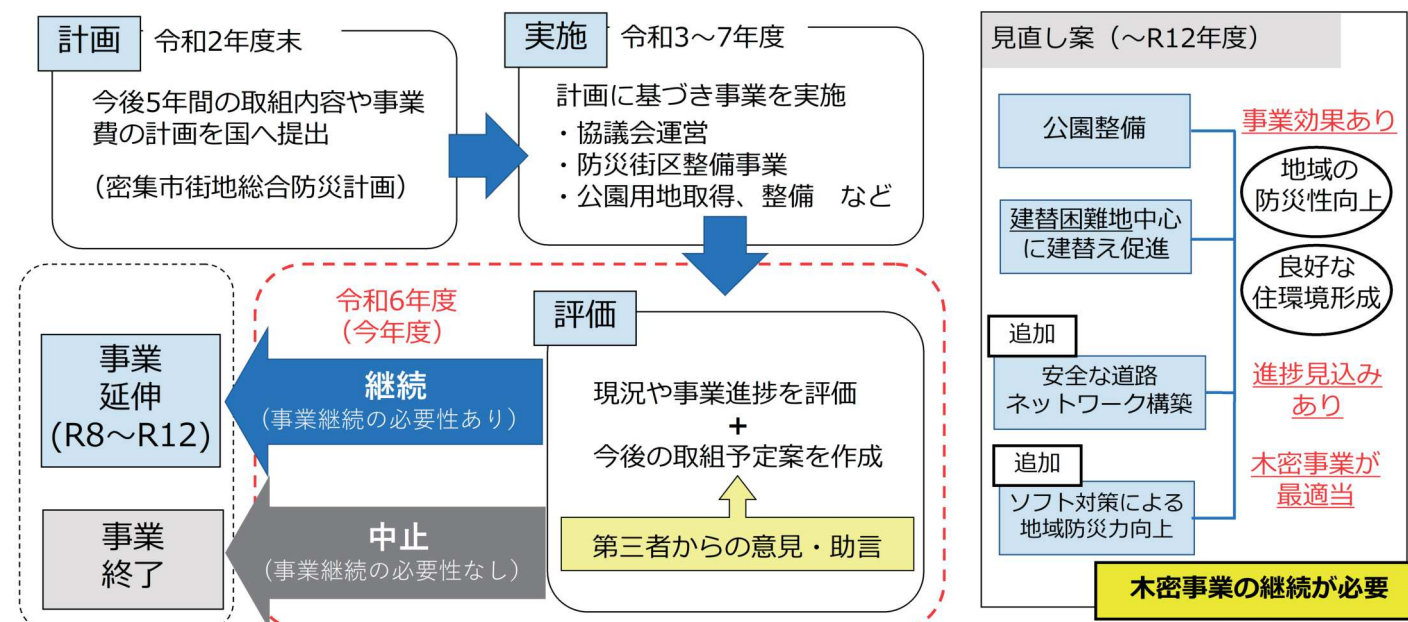


現地視察(西小山駅前)



現地視察(向原小学校前)

事業評価委員会の位置づけと見直し計画案



令和6年度防災講演会を開催しました

今年度の防災講演会は、令和6年12月8日（日）に向原小学校体育館にて開催し、参加者約50名と盛況でした。第1部は講師の「カービー」こと星野諭さんから被災地能登の实情のお話や身近な物でできる防災術を参加型で実践しました。第2部は町会から防災倉庫や合同防災訓練のお話、目黒消防団第8分団から最近の訓練のお話とチェーンソー実演。第3部は目黒区防災課のレクチャーで、避難所を想定した室内用テントや段ボールベッドの組立てや災害用トイレの仕組みなど、参加者皆さんが身体を使って学ぶ時間となりました。

命を守るかんたん防災術



防災サバイバル術 実演型レクチャー＆体と手を動かして学ぼう！

■災害直後と避難時のポイント■

①頭を守る

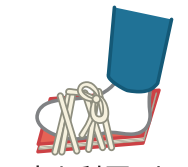
地震はどこでいつ起きるか分かりません。グラグラときたら、まず頭と肺を守ること。身近にあるもの（椅子、ランドセル、スーパのカゴなど）で守ろう。とっさの判断で動けるように！



だんご虫ポーズ

②避難時のくつ

水害や避難時に水浸しのまちをどう避難するか？ガラスやガレキから固いもの（新聞、雑誌、段ボールなど）で足底を守り、ビニールで覆って濡らさない工夫が必須！



本を利用した非常用のくつ

③だっこ・おんぶヒモ活用術

赤ちゃんは前だっこ、歩ける位の幼児はTシャツおんぶで。いずれも両手を空けることが、災害時には大切です。

抱っこおんぶ術

■避難所や避難生活のポイント■

①災害時のトイレ

過去の災害で避難所のトイレは悲惨な状況でした。被災直後のトイレは基本的に使わないこと。災害用トイレはビニールを二重に。おむつの吸水ポリマーも活用できます。



災害用トイレ使用時の注意

②紙食器や日常生活に必要なもの

ちらしで簡単な紙皿を皆で作りました。ポリ袋で包めば衛生的で再利用できます。動画サイトなどでも手法はいろいろ紹介されていますが、「知識」で覚えるのではなく、原理原則を知ることによって被災時に慌てず対応ができます。



「カービーのムゲンあそび」
じじ地震だゲーム



非常用食器 超簡単！
身近なモノで食器づくり



皆で紙皿作り

目黒区消防団第8分団の取組

消防団の活動紹介、災害対応の必要性、総合震災訓練での向原小学校での破壊訓練の紹介、町会と消防団、以上4つのテーマでお話いただきました。

★災害対応の必要性のポイント

- ①震災はいつくるか分かりません→だから日頃の防災訓練への参加や地域コミュニティとの連携が大切になります。
- ②なぜ震災に対応する力が必要か→自分の身は自分で守るという意識と知識があれば、自ら行動し危険から回避できます。
- ③一人では小さな力でも、束ねれば大きな力に！→一人で立ち向かって災害の脅威には勝てません。地域の人々と連携し、手を取り合い、大きな力を持って打ち勝ちましょう。

★第8分団は現在20名の団員で限られています。皆さんの参加が地域全体の安心と協力の一翼を担う貴重な一歩となります！



女性団員によるチェーンソーの実演



Instagram

YouTube
動画

目黒本町五丁目南町会の取組

町会の役割や活動について、目黒本町五丁目南町会の取組などを紹介いただきました。町会は、お祭などの地域行事とともに地域防災の担い手として尽力しています。昨今は担い手不足等により防災訓練の開催が難しいなどの課題に対応するため、令和6年5月に7町会合同防災訓練を初開催し、起震車・煙ハウスの体験、炊き出し（アルファ化米）活動、スタンドパイプの実演などを行った様子を写真で紹介しました。

東町南児童遊園内にある、目黒本町五丁目南町会の防災倉庫は、スタンドパイプ、ホース類、発電機、担架、リヤカーなどの防災設備やヘルメット、スコップ、工具などの備品類が充実しています。児童遊園は、町会独自の防災訓練やイベント等の開催に活用できる貴重な場所です。木密事業を活用して、公園や児童遊園を増やしてほしいと、地域からの要望が強くありました。



町会防災倉庫の内部

防災課レクチャー・ワークショップ

目黒区防災課から、避難所となる向原小学校についての話と、避難所で使用する防災資機材の組立てを参加者皆さんで実践しました。会場の向原小学校は、現在建替え工事中ですが、「地域避難所」として使用可能です。発災時には、避難所運営本部を組織し、避難者、地域住民、自治体職員、施設職員等が役割分担し、相互に協力して運営することになります。

今回は、避難所生活を想定しながら、段ボールベッドや室内用防災テントを実際に組立しました。近年は製品改良により、簡単かつ強度が向上していますが、実際にやってみることでコツや課題を体感できます。ご家庭でもぜひ取り組んでみてください。



災害用トイレの使用状況



段ボールベッドの組立て



防災テントの組立て